

東日本大震災被災地現地連絡事務所報告

1 現地連絡事務所の活動

(1) 活動の概要

- 活動期間 平成23年4月25日(月)～5月31日(火)
※現在も6月末までの予定で第2陣(2名)が活動中
- 活動場所 宮城県多賀城市(多賀城市役所2階に執務スペースを確保)
- 駐在職員 現地支援監 新谷 哲也
現地支援連絡員 佐々木寿志

(2) 主な活動内容

- 岐阜県と多賀城市、宮城県との人的・物的支援の円滑かつ適切な調整、実行
 - ・多賀城市、宮城県への支援にかかる連絡調整
 - ・現地避難所で活動する県職員の活動サポート

2 主な支援活動の状況(現地での声)

●避難所支援活動

- ・女性の支援職員の方には、女性ならではの心配りや同じ女性の避難者の方も話しやすく親身に対応していただいた。【避難所入所者】
- ・せっかく仲良くなれたので、もっと長くいて欲しかった。【避難所入所者】
- ・岐阜県の支援職員の方は、皆活動への意欲が非常に高く、環境衛生活動など敬遠されがちな仕事にも熱心かつ献身的に取り組んでいただいている。【避難所運営スタッフ代表】

●アームチェアの支援

- ・座り心地がとともよい。床に座って過ごす時間の辛さから解放される。【避難所入所者】

●鉢花の支援

- ・自分も花を育てていたもので、ここまで育てるのには苦勞されたと思う。その花を贈っていただけて感謝しているし、自分もかつてのように花を育てていた毎日を取り戻せるように頑張りたい。【避難所入所者】
- ・あたたかいメッセージを目にし、震災で傷ついた児童の表情が明るくなった。【小学校長】

●復興応援メッセージ(イオン)

- ・離れていてもこんなに沢山の方に応援していただいていることが分かり、力が沸いた。【避難所入所者】

●岐阜県きずな便(ベーグル、バターロール)

- ・美味しかった。食事の内容に合うようにという心遣いがうれしかった。【避難所入所者】
- ・もっと早くやっていただけるとよかった。【避難所入所者】

●東北物産展・宮城観光展

- ・元気な観光地も沢山あることを知っていただけるよい機会を作っていただけた。今後岐阜県との交流を深めていきたい。【宮城県担当者】

3 課題

- 充実した支援活動のため、できるだけ早期に支援活動の拠点となる現地連絡事務所設置
- 現地支援にかかる事前情報収集の重要性
- 広域災害では遠隔の自治体との平素からの友好関係が力を発揮
- 今回の支援を通じて生まれた絆の継続